

令和6年度 教科研修会Ⅱに向けた授業の構想

国語科

1 国語科の研究テーマ

文章を読んで理解したことなどに基づいて、
自分の考えを形成する力を高める学習の在り方

2 国語科として育成を目指す資質・能力の受け止め (研究テーマに示す力が高まっている生徒の具体の姿)

- ・理解したことを説明したり、他者の考えの根拠などを知ったりすることを通して、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っている姿 (1学年、「C読むこと」領域)
- ・他者の考えの根拠や道筋などを知り、自らのものと対比することを通して、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている姿 (2学年、「C読むこと」領域)
- ・文章に表れたものの見方や考え方や、他者のものの見方や考え方を比較することを通して、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている姿 (3学年、「C読むこと」領域)

3 単元名・学年 「人物像を明らかにするーアイスプラネットー」・2年

4 単元の概要 (全6時間扱い 本時は第3時)

単元の学習問題

「僕」にとって、「ぐうちゃん」はどのような存在だったのか。

単元展開

時間	学習活動
第1時	<p>◆<u>単元の見通しをもつ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を範読し、単元の学習問題を設定する。 【単元の学習問題】「僕」にとって、「ぐうちゃん」はどのような存在だったのか。
第2時	<p>◆<u>登場人物の心情の変化に対する考えをもつ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 【学習課題】「僕」と「ぐうちゃん」の心情の変化に着目して、心情曲線に表そう。 ・「僕」と「ぐうちゃん」の心情の動きを個人やグループで追究する。
第3時 (本時) ～ 第4時	<p>◆<u>人物像に対する考えを広げたり深めたりする</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 【学習問題】「僕」の気持ちが「ぐうちゃん」から最も離れたのはどの場面だろうか。 【学習課題】根拠となる心情を表す表現に着目して、場面ごとの「僕」の心情を比較しよう。 【学習問題】「ぐうちゃん」は「僕」に対してどのように考えていたのだろうか。 【学習課題】場面ごとの「ぐうちゃん」の心情に着目し、人物像を捉えよう。
第5時	<p>◆<u>単元の学習問題に対する最終的な考えをまとめる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 【学習課題】読み取った人物像を基に、単元の学習問題に対する考えをまとめよう
第6時	<p>◆<u>単元の学びを振り返る</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元で追究してきたことについて振り返る。

国語科学習指導案

令和6年7月3日(水) 5校時 3年A組教室

授業学級 2年D組(41名)

授業者 和田 康孝

- 1 単元名 「人物像を明らかにするーアイズプラネットー」
- 2 主眼 ※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している
「僕」の気持ちが「ぐうちゃん」から最も離れた場面はどこかについて考える場面で、根拠となる心情表現に着目して場面ごとの「僕」の心情を比較する活動を通して、「僕」の人物像をより明確にすることができる。 【C(1)オ】
- 3 単元の学習問題: 「僕」にとって、「ぐうちゃん」はどのような存在だったのか。
- 4 本時の位置(全6時間中 第3時)
前時: 場面ごとの「僕」と「ぐうちゃん」の心情の変化を心情曲線に表し、グループでまとめた。
次時: 「ぐうちゃん」の「僕」への気持ちから、「ぐうちゃん」の人物像を明確にする。
- 5 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導入	1 学習問題を設定し、学習課題を据える。	ア 友のまとめた心情曲線の形と自分のものには違いがあるな。特に「僕」の気持ちが下がっている場面に違いがあるな。 学習問題: 「僕」の気持ちが「ぐうちゃん」から最も離れたのはどの場面だろうか。	・前時まとめた心情曲線を共有し、アのような反応から、学習課題を設定する。	10分
		イ 私たちは、「僕までほら吹きになってしまったのだ」という部分が最も離れたと思う。友はどのように考えたのだろうか。 学習課題: 根拠となる心情を表す表現に着目して、場面ごとの「僕」の心情を比較しよう。	・イのような、根拠となる心情の違いに注目する生徒の反応から学習課題を据える。	
展開	2 グループごとに、考えをまとめ直す。	ウ グループでまとめた心情曲線では、3の場面の最後に最も気持ちが離れると考えた。「むっとした」から始まる部分で「からかわれた」「損をした」など、「僕」の怒りを読み取れる表現が多いので、「僕」の心情曲線が一番下がった場面だと言えそうだ。	・ウのように、前時の追究を基に、グループで学習問題に対する考えをまとめ直し、根拠となる心情表現を基に、発表ができるように準備をするよう促す。	8分 22分
	3 根拠となる心情を表す表現に着目して、場面ごとの「僕」の心情を、全体共有を通して比較する。	エ Aグループは、2の場面の最後だと話していた。2の場面の後も、確かに「僕」の心は離れているが、「なめている」より、「からかわれた」の方が、気持ちが離れているといえるのではないかと。 オ Bグループも同じ3の場面を選んでいるが、心情曲線のポイントがマイナス4か、マイナス2か、という違いがある。Cグループは「急に寂しく感じられて」という表現から、「ぐうちゃん」を完全に嫌いにはなれない「僕」の優しさに着目していた。 カ Cグループの言う「優しさ」は、4の場面の最後にも表れている。4の場面は気持ちが離れたというよりは、「ぐうちゃん」に素直に気持ちを伝えられなかった自分への後悔も感じているのではないだろうか。	・エのように、描写から心情を読み取っているグループの考えを取り上げ、考えの根拠となる心情表現を整理して板書する。 ・オのように、同じ場面を選んでも根拠となる心情表現や、ポイントを打った場所が異なる考えを取り上げ、それぞれの違いをどのように捉えるか問い返す。 ・カのように、自分が選んだ場面と選ばなかった場面について比較しながら心情を捉えている生徒の考えを取り上げ、全体で共有する。	
終末	4 本時の学習を振り返り、「僕」の人物像についてまとめ、共有する。	キ グループで考えたときは、3の場面での「僕」は「ぐうちゃん」に対して強い怒りを感じていて、「ぐうちゃん」をかなり嫌っているように感じていた。しかし、他のグループの意見を聞いて、「僕」の人物像を改めて考えると、最終的には「ぐうちゃん」を嫌いにはなれない「僕」や、自分の気持ちに素直になりきれない「僕」という人物像も見えてきた。「僕」の人物像は、すぐに怒る「子供っぽい人」というだけでなく、「他者への優しさももっている人」に変わってきた。	・さまざまな心情表現を基に、「僕」の人物像がより明確になっているキのような生徒の考えを取り上げ、全体で共有する。 場面ごとの「僕」の心情の変化から、「僕」の人物像をより明確にすることができたことをワークシートから読み取る。	10分